

受験番号

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分は、  
著作権の関係で掲載できません。

国語 (2)

受験番号
------

問1 (A) (B) (C) に入ることばを次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。  
ア うつすらと イ どんよりと ウ ぼんやりと エ ぼっかりと オ ぴったりと

A
B
C

問2 — 線①「窓の外にめざましいものを見つけた」とありますが、何を見つけたのですか。本文中から七字でぬき出して書きなさい。  
い。

-----
-----
-----
-----

問3 — 線②「いきなり数字を言われて」とありますが、その数字は何の大きさのことを言っているのですか。解答らんには当てはまるように、本文中のことばを用いて十五字以内で書きなさい。

-----
-----
-----
-----
-----

問4 — 線③「クラスキ？」とありますが、「旗」をカタカナで「キ」と書いたのはなぜですか。解答らんには当てはまるように二十字以内で書きなさい。

-----
-----
-----
-----
-----
-----

問5 — 線④「まるで、がくぶちにはいったみたい」と友だちがたとえて言ったのは旗がどのように見えたからですか。それを説明した次の文中の空らんに入ることばを本文中から五字でぬき出して書きなさい。

黒ずんだ屋根ばかりの風景の中に切りぬいたようにあいた 

-----
-----
-----

 の中に旗が見えたから

問6 — 線⑤「そんなつもりで言ったんじゃないわ」ということばで、少女はどのようなことを伝えたかったですか。その説明として(1)少女が「言った」のはどのような話ですか。本文中から二十五字以内でぬき出して書きなさい。

-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----

(2)「そんなつもりで言ったんじゃないわ」ということばで、少女はどのようなことを伝えたかったですか。その説明として最も適切なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。  
ア 訪ねて来なかつたことをせめているのではないこと。 イ 本当は一人でいてもたいくつなどしていなかったこと。  
ウ つまらない話をしたので取り消したいということ。 エ おこらせてしまったことをあやまりたいということ。

-----
-------

問7 — 線⑥「そういえば、あの旗……」とありますが、この後にどのようなことばが続くと考えられますか。「そういえば、あの旗を」の後に続くように、本文中のことばを用いて三十字以内で書きなさい。

そういえば、あの旗を 

-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----

問8 — 線⑦「少女の心はなんとなくはずまなかつた」のはどうしてですか。その説明として最も適切なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 自分のひそかな楽しみであった旗のことを友だちに知られてしまい、級友たちに笑われると思ったから。  
イ 心から心配して来てくれたわけではないのだと思えてきて、友だちと会うことが不安になってきたから。  
ウ 病院は許可してくれたが、うまく歩けるわけではないので、友だちにめいわくをかけたくなかつたから。  
エ 友だちが訪ねてくれたことはうれしかったが、他の級友とうまくつきあえるのか心配になってきたから。

-----
-------

問9 

D
---

 に入ることばを本文中から六字以内でぬき出して書きなさい。

-----
-----
-----

問10 — 線部「友だちからは、あれっきりなんの音さたもない」とありますが、友だちは少女の家に行かない間に何をしていたのですか。そのことがわかる部分を、本文中から五十字程度でぬき出して、その初めと終わりの五字を書きなさい。

-----
-----
-----
-----

-----
-----
-----
-----



受験番号

問2 — 線②「フランダースの犬」とありますが、筆者が熱中して読んだ様子がわかる表現を本文中から三十字以内でぬき出して、その初めと終わりの五字を書きなさい。



問3 — 線③「少しずつやわらかいものを、次には少しかたいものを」とありますが、本に当てはめると「やわらかいもの」、「かたいもの」とはどのような本ですか。解答らんには当てはまるように、本文中からそれぞれ十字程度でぬき出して書きなさい。

【やわらかいもの】：


本

【かたいもの】：


本

問4 — 線④「心の糧」の意味として最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 気持ちをはち着けることに役立つもの。
- イ 人間性を豊かにすることに役立つもの。
- ウ 願いを持つことに役立つもの。
- エ 責任感を養うことに役立つもの。

--

問5 — 線⑤「けっして必要ではありません」とありますが、このように言える理由を、解答らんには当てはまるように書きなさい。

本が読めなくても


から

問6 — 線⑥「おもしろくて我を忘れてしまう」について

(1) 「おもしろくて我を忘れてしまう」本とはどのような本ですか。解答らんには当てはまるように、本文中から四字でぬき出して書きなさい。


がある本

(2) このような様子を表した次の四字の熟語の空らんには当てはまる漢字を書きなさい。


無<sup>む</sup>我<sup>が</sup>

問7 この文章で述べられている内容に合うものを次の中から二つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 本を読むことで他の人といっしょに喜んだり悲しみを分け合ったりできる。
- イ 本を読むときに感じる気持ちの高まりは大人になるにつれて少なくなっていく。
- ウ 字を読めない赤んぼうだとしても、小さいころから本に親しんでいるのがよい。
- エ いつも本を読んでおくと、他の人たちと会ったときの話題に困ることはない。
- オ いつも読書をするときには簡単に読める本を探すことが大切である。
- カ 筆者にとって、本を読んでいるときに人生の最も大事なしゅん間のひとつである。


三 次の①～⑤の——線の漢字をひらがなにし、⑥～⑩の——線のひらがなを漢字に直しなさい。

- ① 海岸に沿<sup>よ</sup>って歩<sup>あ</sup>く
- ② 仕事<sup>しごと</sup>が済<sup>す</sup>む
- ③ 規<sup>き</sup>模<sup>も</sup>が大きい
- ④ 生命<sup>いのち</sup>の源<sup>げん</sup>
- ⑤ 利<sup>り</sup>己<sup>こ</sup>的な考え方

- ⑥ 差<sup>さ</sup>が<sup>ち</sup>ち<sup>ぢ</sup>まる
- ⑦ き<sup>び</sup>しい自然
- ⑧ さ<sup>い</sup>ば<sup>ん</sup>所<sup>しよ</sup>に行く
- ⑨ 実<sup>じつ</sup>力<sup>りき</sup>を<sup>み</sup>と<sup>め</sup>る
- ⑩ ほ<sup>う</sup>り<sup>つ</sup>を<sup>し</sup>守<sup>ま</sup>る
- ⑪ かけが<sup>え</sup>のない<sup>ない</sup>そ<sup>ん</sup>ざ<sup>い</sup>
- ⑫ 鏡<sup>かがみ</sup>に<sup>う</sup>つ<sup>る</sup>
- ⑬ せん<sup>もん</sup>家<sup>か</sup>の<sup>い</sup>見<sup>けん</sup>
- ⑭ ち<sup>か</sup>ち<sup>の</sup>ある<sup>ある</sup>一<sup>いっ</sup>勝<sup>しょう</sup>
- ⑮ し<sup>よ</sup>く<sup>ぎ</sup>よう<sup>よう</sup>を<sup>しやう</sup>調<sup>てう</sup>べ<sup>る</sup>

⑪	⑥
⑫	⑦
⑬	⑧
⑭	⑨
⑮	⑩

受験番号

四 次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

問1 ー線①「手をさしあげて／静かにふれば／星くずが 雪のように／舞いおりてくるかと思われる」とありますが、なぜこのように思われるのですか。その理由として最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 星がくつきりと見え、近くにあるように感じるから。  
イ 今にも雪がふりそうなほど、寒い日であったから。  
ウ すぐに消えそうなほど弱々しい光であるから。  
エ 現実ではなく、夢を見ているような気分だから。

問2 ー線②「遠い宇宙からやってきて／また どこかへ遠ざかっていくように」とありますが、これはどのような様子をたとえた表現ですか。次の文の空らん（A）（B）に当てはまることを書きなさい。ただし、（A）は、詩の中から十字でぬき出し、（B）は三字以内で考えて書きなさい。

（A）の姿が目前になるまで見えず、またすぐに遠くへ消えていくように感じるほど、あたりが（B）様子をたとえている。

(A) 

-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----

(B) 

-----
-----
-----

問3 ー線③「思いがけないこと」とありますが、その内容が明らかになるように、

--

に当てはまることをばを五字以内で考えて書きなさい。

思いがけないことに 

--

ではない／このわたしにまで

-----
-----
-----

問4 ー線④「星たちが 人びとの心の中に／住みついているかと思われる村でした」とありますが、どのようなことをたとえていますか。「心」ということをばを用いて十五字以内で書きなさい。

-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----

問5 ー線⑤「たくさんの人びとと／ほのぼのとした光を ながあって」とありますが、具体的にはどのような行動をとっていますか。詩の中から四字でぬき出して書きなさい。

-----
-----
-----

五 次の各問いに答えなさい。

問1 漢字で次のようなしりとりを考えました。このしりとりと同じ決まりでできている①・②の 

A
---

D
---

 に、当てはまることをばを漢字で書きなさい。

(例) 「成虫」↓「中止」↓「四季」↓「器官」↓「感動」↓「同類」  
① 「温度」↓ 

A
---

 ↓「代役」↓「約束」↓ 

B
---

 ↓「低気圧」  
② 「健康」↓ 

C
---

 ↓「陛下」↓「果樹園」↓ 

D
---

 ↓「激流」

C	A
D	B

問2 次の文のー線の中で、送りがながまちがっているのはどれですか。一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 税金を納める。 イ ちらしを配る。 ウ 問題が難しい。 エ 毛布が暖い。

--

問3 「不」「未」「無」「非」「非」のどれかをつけて、下の語を打ち消す熟語を作ります。同じ字がつくものを次の中から二つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 意識    イ 発表    ウ 安定    エ 成年    オ 常識


問4 次の文をつなぐことばとして、最も適当なものをあとのア～エからそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

① 特産品について発表しますか。 

--

、伝統文化について発表しますか。  
② 桜の花がさきました。 

--

、気温はまだ低い状態が続いています。  
③ わたしはピアノが得意です。 

--

、走ることも自信があります。  
④ 坂口さんは絵画に興味があります。 

--

、よく美術館に行きます。

①
②
③
④

- ア また    イ それとも    ウ だから    エ しかし